

## LP Forum (Student Forum) Report Oct. 24, 25, 2015

Name

日尾野 隆大

### Your comments of student forum (Leading forum)

我々の部屋では各グループで、2 分のプレゼンを全員した後、5 分で 5 枚のポストイットを作り、順番に貼り、問題点を列挙、その後の 20 分で問題点を整理しながら議論という形式でグループワークを進めた。一方でファシリテーターにより細部がやや異なり、第一グループではファシリテーター、外部コメンテーターはコメントのみでポストイットは作成しないのに対し、第二、三グループではポストイットを作成し、議論にも加わった。第一グループではポストイットを貼りながら議論していたのに対し、他のグループで貼りきったのちに議論へと進んだ。また第二グループではファシリテーターが議長のような役目をこなし、議論の中心を担っていた。

- グループワークの手順が煩雑な割に参加者の理解がまちまちであった。そのためスムーズに議論がスタートせず、また部屋内でも最初のラウンドから議論を始めたところ、自己紹介に終始したところなど差があった。

- ファシリテーターの役割が曖昧だった。議論を主導する人と進行に徹する人がいた。また、ファシリテーターが議長を兼ねると、どうしてもファシリテーターが主体的に議論に係ることになってしまうのではないかと？

- 参加者としては比較的学年の若い学生が多かったように見受けられた。非常に積極的で驚かされたが、一方で博士前期課程の学生はまだ経験が乏しく「自分の経験に基づいたプレゼンテーション」はできていないように思えた。

- 今回のグループワークのルール上、最初に大量の問題が挙がることから、議論が発散したまま収束しないという状態に陥りがちだった。発散のフェーズ（一人 5 枚のポストイット）と収束のフェーズ（20 分の議論）のバランスがやや発散よりだったのではないかと。

### What do you want for the future student forum?

- 同じテーマで就学年度別に議論すると面白いかもしれない（下の学年はテーマに対し「これから自分たちはどうすべきで、プログラムに何を求めるのか」、中間の学年は「これまでの経験を踏まえ、自分たちとプログラムは何を改善すべきか」、上の学年は「これまでプログラムを通して何を学び、それが将来のキャリアパスの上でどうなるのか」など）。

- フォーラムの終わりに問題になっていたが、議論の英語化は必須課題。あの場で「学生として英語で発現する」ことをできなかったのは反省点です。

- 今回は実現可能性を含めた議論はできていなかった。せっかく提案を出すのだから、実現可能性を踏まえた計画の立案と、それに対する評価があった方がグループワークとしてやりがいがある。

Others

特になし。

Submit to : [leading@vetmed.hokudai.ac.jp](mailto:leading@vetmed.hokudai.ac.jp) by the return mail